

令和元年度 第2回中野市健康づくり推進協議会 会議経過書

令和元年8月22日(木)

午後1時30分～

会議室 21

- 出席委員 鈴木 章彦委員、古田 充博委員、東本 雅之委員、上田 光郎委員、竹内 洋子委員、小林貴三子委員、吉池 照子委員、島田 忠美委員、中島 一良委員(9名)
- 欠席委員 高野 次郎委員、高橋 智子委員、洞 和彦委員、神田 和貴委員、武田せつ子委員、黒川 達也委員、吉見 和彦委員(7名)
- 事務局 太田健康福祉部長、小林健康づくり課長、吉村高齢者支援課長、塚田健康づくり課長補佐兼母子保健係長、鈴木健康管理係長、池田保健医療推進係長、小林長寿福祉係長、外山副主幹、高木主査(9名)

1 開 会 13:30 小林健康づくり課長(武田副会長欠席のため、以後進行)

2 あいさつ 鈴木会長、太田健康福祉部長

3 協議事項

(1) 「2019健康づくりフェスティバル・日野原重明先生記念講演会」について

- ・フェスティバル全般について
- ・健康コーナーの運営について
- ・健康づくり実践賞の該当者の選考
(説明者:池田保健医療推進係長)

○ 古田委員 8020運動が始まって30年経ち、その成果か歯の保有者が増えてきているが、ただあればよいというわけではなく、しっかりとした状態であるということ、定期的に検診を受けたり、適切な予防努力ができたりしているかが大切で、推薦者は本人の意識が高く、模範となることから推薦した。

● 出席者全員の賛同を得て、R元健康づくり実践賞の受賞者について、推薦どおり決定された。→中島一良、倉品初夫、堀内澄子・畔上富久榮 2者、1組

(2) 中野市自殺対策計画の策定について

(説明者:鈴木健康管理係長) 資料1～3

- ・ 今後、骨子案を基に委員に意見をいただき素案、原案を作成していきたい。

○ 鈴木会長 自殺を凶ろうとする人は、原因が何であろうが、要因は鬱病である。自殺対策の根本は鬱病の患者をいかに作らないかである。相談にのって食い止

められる人は自殺まで距離がある人で、自殺を図ろうとする人はそのレベルを超えておりそこが自殺対策の難しいところである。

資料1のP4の(3)生きることへの促進要因への支援、具体的な取り組みについて、より深めた具体的な内容を知りたい。

ストレスを処理する能力は人それぞれ違うが、能力は学校に入る前に決まる。私たち産科医は妊娠から乳幼児期までが大事ということで活動している。

(3) その他

第1回協議会に吉池委員から質問があったシルバー乗車券、温泉利用助成券給付事業の利用状況について

(説明者：吉村高齢者支援課長)

- 吉池委員 ぽんぽこの湯で健康づくりにつながるものが何かできないか。開所時は、健康講座をやっていたように、健康増進の発信の場になればよいのではと思う。

4 その他

- 小林健康づくり課長

次回開催は、11月頃を予定している。健康づくりフェスティバル・日野原重明先生記念講演会の実施報告と自殺対策計画の策定について素案をお諮りいただく予定。

また、自殺対策計画の策定のため11月頃4回目の協議会の開催を予定している。

5 閉 会 14:33